

スポーツ振興などでご協力いただきます
包括連携協定締結式



5月10日、株式会社ヤマダホールディングス様と包括連携協定を締結しました。相互連携と協働による活動を推進し、地域の諸課題に迅速かつ適切に対応しながら、活力ある個性豊かな地域社会の形成および住民サービスのより一層の向上を目指します。

株式会社ヤマダホールディングス陸上競技部は、これまで、クイーンズ駅伝(全日本実業団対抗女子駅伝大会)や東京オリンピック、世界陸上で活躍するだけでなく、陸上競技活動を通じて子どもたちへの教育支援をはじめ地域社会の活性化、スポーツ文化の向上など、社会貢献活動にも取り組んでいます。



▲代表取締役兼専務執行役員 小暮めぐ美様 (写真右)

小暮めぐ美様(代表取締役兼専務執行役員)からは、「今回の連携をいかに継続していくかが大切。幅広く手がけている事業を生かし、細やかに協力をしたい」とごあいさつをいただきました。柴崎町長は「知見やノウハウをご活用いただきながら、連携してさまざまな事業に取り組みたい」とあいさつしました。

今後は、スポーツ振興、健康増進、青少年の健全育成、地域社会の活性化、安全安心なまちづくり、環境保全など8項目でご協力いただきます。



▼問い合わせ先

企画財政課 企画室

☎ 26・2241 (直通)

回収にご協力ください

資源ごみの集団回収に補助金を交付



資源ごみを回収した登録団体(自治会・育成会など)へ次の通り補助金を交付しています。

交付された補助金は自治会や育成会の活動資金になります。回収のご協力をお願いします。

種別	補助単価
ビン類	10円/本
紙類	10円/Kg
金属類(缶除く)	10円/Kg
アルミ缶	10円/Kg
スチール缶	10円/Kg
布類	10円/Kg

申請回数	補助単価
1.2回目	1,000円
3.4.5回目	3,000円
6回目以降	0円

補助金を申請すると町環境美化推進協議会からも、1回5,000円の補助金が交付されます。

※年2回までの交付です。別途申請の必要はありません。

▼申請に必要なもの

- 申請書(毎年度初回のみ登録が必要です)
- 実績報告書
- 資源ごみ引き取り整理票
- 回収業者が発行する計量表(回収量が分かるもの)

※申請書などは町ホームページからダウンロードできます。

▼注意

回収方法などについては各団体により異なります。各団体へ直接お問い合わせください。

▼問い合わせ先

住民課 住民環境室

☎ 26・2245 (直通)



今月の納税

町県民税普通徴収…1期

納期限 令和4年6月30日(木)

コンビニエンスストア、LINE Pay、PayPayでも納付できます。また、便利で確実な口座振替もご利用ください。

渋川広域市町村圏振興整備組合

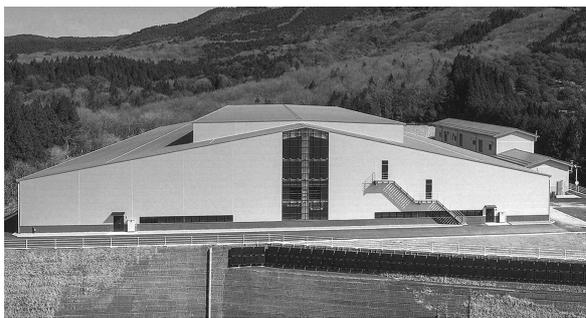
最終処分場候補地を選定しています

町で出たごみは、渋川市、榛東村、吉岡町の3自治体で構成される渋川地区広域市町村圏振興整備組合が運営する渋川地区広域圏清掃センターで焼却処理されます。発生した焼却灰などはエコ小野上処分場に運ばれ埋め立てられています。

最終処分場の建設候補地選定に関する協定は、昭和56年1月に当時の渋川地区広域市町村圏振興整備組合の構成8市町村の中で締結されていますが、平成18年の渋川市の合併を受け、平成20年2月に構成3市町村で、用地選定順位を、渋川市→吉岡町→渋川市→榛東村とする協定書が締結されました。

その後、渋川市からの報告を受けエコ小野上処分場が整備され、その次の最終処分場は本協定に基づき吉岡町が用地を選定することになりました。

町では、自治体としての責任を果たすため、外部有識者



▲現在稼働しているエコ小野上処分場の外観

などから構成される「最終処分場候補地選定委員会」を設置し検討を進めています。今後は選定委員会から提出される答申書を踏まえ、町としての方針を決定し、令和4年度内に渋川地区広域市町村圏振興整備組合に対し候補地選定報告を行う予定です。



▲町ホームページはこちら

▼問い合わせ先
住民課 住民環境室
☎26・2245 (直通)



春の環境美化週間 ごみ収集場所マナーアップ週間

5月・6月は群馬県の春の環境美化月間です。町では、環境美化推進協議会と各自治会の協力を得て、**6月20日(月)～24日(金)**の期間、ごみの出し方などの一斉指導を行います。

この期間、各ごみ収集場所では腕章を付けた役員が現地指導をします。ご協力をお願いします。

△町指定ごみ袋で出されていないものや、ルールが守られていないものには、注意シールを貼ることがあります。

▶問い合わせ先 住民課 住民環境室 ☎26-2245 (直通)